

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年10月18日

派遣決定番号

## 地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	竹原市	代表者名	今榮 敏彦
担当者部署	総務企画部	連絡先電話番号	0846-22-7729
担当者役職	主任主事	担当者氏名	上田 尊史
住所	725-8666 広島県竹原市中央5丁目1番35号		

#### 1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	原田 智
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかった)	DXの進め方について具体的な事例を挙げて、お話をいただいた。
アドバイザーへの要望事項	今後は、講演会に向けた相談等をメールでさせていただければと思います。

### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年10月8日	10時40分	17時30分	260	150
3-2. 派遣場所	会場名	竹原市役所	最寄駅	竹原駅	
	所在地	竹原市中央5丁目1番35号	最寄駅からの交通手段	徒歩5分	
	派遣形態	事前打合せ(オンライン)			

### 4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	竹原市職員	4人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	
	DX推進について、異なる部署が一体となり、全庁的に取り組む必要があるが、各部・課において温度差があるため、DX推進体制を効果的に運用していくことが課題である。また、DXの政策としてどのようなものを打ち出していけばいいかが問題である。	
	支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	
	DX推進体制を効果的に運用し着実にDXを推進していく。	
	アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	
	DXの進め方や政策について、他市町の事例などを交えながら助言をいただいた。	
	支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	
	今までDXを非常に重いものとして考えていたが、アドバイザーから色々と話を伺いある程度の方向性をイメージできた。	
	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	今回は打合せのため、次回の講演会で職員に話をしてもらおうと思います。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 打合せのため、講演・セミナーは行っていない。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿		

## 6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

